

ひとりで悩まないで相談してください

あなたは、配偶者や恋人などからの暴力に悩んでいませんか？
ひとりで悩まず相談してください。相談は無料です。秘密も守られます。

群馬県女性相談センター

☎027-261-4466
月～金曜日 午前9時～午後8時 土・日曜日、祝日 午後1時～5時

男性DV被害者相談電話

☎027-263-0459
毎月第2・4水曜日 午後2時30分～4時

群馬県警察本部犯罪被害者相談

☎027-221-7777
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分



「女子大のとびら」

群馬県立女子大学 ☎65-8511

日本語教室でのサークル活動を紹介します

文学部 国文学科 講師 國澤 里美

こんにちは。毎週金曜日19:30～21:30と土曜日13:30～15:30に玉村町勤労者センターで行われている日本語教室をご存じでしょうか。本学の国際交流倶楽部というサークルもそこに参加し、活動しています。サークルとして日本語ボランティアを始めたのは、玉村町国際交流協会が発足した平成7年からだそうです。ですから、立ち上げ当時のことを知る在學生はいません。しかし、20年以上活動を続けているのには玉村町のみなさまのお力添えはもちろん、学生にとって魅力的な何かがあるのだろうと思い、活動の様子について尋ねました。

Q：現在の参加者について教えてください。

A：日によって違いますが、県女生、学習者、地域の方、それぞれ約15～20名います。

Q：具体的にどのような活動をしていますか。

A：外国の方に日本語を教える活動をしています。それに加えて、バス旅行、季節の行事を紹介するイベント、地域住民の方と交流するイベントなども行っています。

Q：交流は教室の中だけではないのですね。

A：はい。学習者のお宅にお邪魔して国の料理をごちそうになったり、乾杯の仕方・食事のマナーについて教わったりしました。Facebookでのやりとりがある人もいます。

Q：活動を通して気づいたことはありますか。

A：活動を始めてから、普段何気なく使っている日本語でも教える立場になると分からないことが多く、改めて日本語と向き合うことができました。また、身近な外国の方と実際に接することで多文化共生について当事者意識を持てるようになりました。

今回のインタビューでは交流の様子を嬉しそうに話してくれる姿が印象的でした。学生が嬉しさ、驚き、やりがいなどを感じながら学習者や地域の方との交流を楽しんでいる様子が伝わってきました。大学生という時期に、玉村という身近な場所に、このような機会があることはとても貴重なことだと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。